

重くのしかかる曇天が室内をも暗くするこの季節に、当社の入る建物の外壁工事が始まりました。周囲はすっかり足場に覆われ、ベランダの植物達を取り込んだ室内は密林と化しています。騒音と溶剤の臭いと締め切った窓によりストレスフルな日々ですが、爽やかな秋風を楽しみに辛抱します。

### 率先垂範の大事

侍・忍者道場の閉館に伴って引き上げて来た什器類が、社長室をはみ出て玄関ホールや廊下等々ところ狭しと占拠しております。以前、満福通信に掲載した「15分片付けのすすめ」に従って片付けを実践し、2週間かかってようやく足の踏み場ができ、デスクに向かうこともできるようになってきました。デスクと頭の中の状況は一致していると言いますがどうも事実のようです。デスクも思考もスッキリして来たからか、いつもは読み

飛ばすメルマガの一節がふと目に止まりました。とある片付けコンサルタントが携わった某企業のオフィススッキリプロジェクト。社員一同片付けに奔走することが決まった矢先、上司より「片付けしている暇があったら仕事しろ」と横槍を入れられたというエピソード。後に随分スッキリ片付いたオフィスを眺めて一箇所だけ以前と変わらない所があることに気づいたとか。それは社長のデスクです。社長のデスクの状

況が「片付けなんてそんなに重要じゃないよ」と無言無意識のメッセージとなって上司にかの発言をさせたのではないか？というものでした。新しい制度や価値観を文化や風土として組織に根付かせていく為は何より重要なのは、経営トップの率先垂範です。人にやれやれ言っておいて自分はやらないでは人は付いてきません。徐々に片付けていく社長室を見ながらこれを継続させて行かねばと強く決意しました。（太）

### 世界初、忍者の段級制度「忍道」

「忍道」始まりました。ニュースにも頻繁に取り上げられる伊賀市の取り組みをここで取り上げるまでもなく、昨今の忍者界隈の盛り上がりは皆さんもご存知のことと思います。これに続けと忍術に関する知識および技術を後世へと継承する目的で世界初となる“忍者の段級制度”「忍道」がスタート。6/18より入門試験が始まりました。入門試験はWEBサイトにて誰でも無料で受験することができます。合格後は知識を学ぶ陽忍コース、技術を学ぶ陰忍コースのどちらか、またはその両方のコースを選択できます。早速私も受験して合格しました。

私が忍道に取り組む目的は、忍びの叡智を弊社のメン顧客である経営者やリーダー層の指導・助言に活かしたいと思ったからです。リーダーのあり方を知る上で武士道の掲げる徳目は理想的ではありますが、理念的過ぎていまいち具体性に欠けます。その点忍道ではあり方を踏まえた上でやり方の部分もかなり具体的に踏み込んで体系化されています。別紙に忍道の案内を同封します。ご興味ご関心のある方は、是非ご覧下さい。（太）

### ようこそ太仁亭へ！

種から育てた赤玉ねぎが収穫期を迎えています。以前から玉ねぎを育てるのが楽しくて大好きでした。ジャガイモやトマトなど家庭菜園で定番の作物は育つ確信があるのですが、「玉ねぎって本当に大きくなるんだらうか？」という思いが常にあり、難しそうなイメージがなかなか払拭できないので、食べられるまでに大きく育つ

ことが心からの喜びに繋がっています。昨春数年振りに再開した畑だったので、何かと出足が遅く、玉ねぎの種まきもほぼひと月遅れでした。苗の定植も遅かった上に、播種の遅さから貧弱な苗だったので、あまり期待はしていなかったのですが、6cmほどにまで太ったものもあり、ここまで育ってくれたことに感激しています。（仁）

### 日本刀から生まれた言葉達-3「すっぱ抜く」

隠し事・秘密を不意に明るみに出すこと。すっぱ抜くの「スッパ」は、「素っ破」や「透っ波」と書き、戦国時代、武家に仕えた忍者のことを言います。

忍者は密かに行動し情報を収集して明るみに出すことや、不意に刃物を抜くことから、出し抜いて暴くことを「すっぱ抜く」と言うようにな

りました。すっぱ抜くには「刃物を不意に抜き放つ」の意味もあるため刀剣由来の言葉とされています。

現代では企業や政治などの組織、また芸能人など著名人の秘密・裏情報・スキャンダルをマスコミや個人が不意に明るみに出すときによく使われます。（太）

### 今月のお豆ちゃん

「子日、豆四而志于忍。」

お豆、四つにして忍びに志す…遂に、遂にお豆ちゃんは忍者になりました。5月下旬の真夏日、近くの公園で「八王子馬上弓くらべ」というイベントが開催された際に、乗馬や忍者の体験をさせて頂きました。侍もいるというので、腰に巻いた兵児帯に小さな木刀を差していったのが大正解。兵児帯で忍者に変身できました。（仁）



### 藤野へ

今年も藤野ぐると陶器市へ行って参りました。道場閉館に伴う引っ越し作業だけでなく、決算業務等々あって直前まで悩みましたが、やはり行って良かったと今回も大満足。山が近付くとどんどん気持ちが高揚し、峠道をくねくね走ると日常とはすっかりおさらば。久しぶりに心から息抜きが出来た気がしています。見出しの写真は、藤野の名倉地区にある「包丁岩」と呼ばれる岩。岩の上は人ひとり通れる幅しかないそうです。（仁）

編集者：後藤紅仁子

kuniko-goto@ccore.co.jp

発行日：2019.6.17 芒種（ぼうしゅ）

梅子黄（うめのみきばむ）

発行所：株式会社コンセプト・コア

☎192-0373

八王子市上柚木 2-63-10

TEL/FAX 042-697-7473

https://ccore.co.jp/

過去号：ウェブサイト↑からご覧頂けます。